



山科区シンボルマーク

# 平成19年度山科区運営方針



**21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区**

平成19年4月

京都市山科区役所

## 目 次

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 2 区役所の果たす役割・・・・・・・・P 2
- 3 山科区の現状・・・・・・・・・・P 3
- 4 山科区の抱える課題・・・・・・・・P 7
- 5 まちづくりの目標・・・・・・・・P 8
- 6 平成18年度の取組・・・・・・・・P 12
- 7 平成19年度の重点課題・・・・・・・・P 15
- 8 その他の山科区主要事業・・・・・・・・P 19

### 表紙写真（左上から順に）

疏水の桜（春）、勸修寺氷室池の睡蓮（夏）、日向大神宮の紅葉（秋）、毘沙門堂の雪景色（冬）

### 山科区シンボルマーク

山科区誕生30周年を記念して、平成18年度に公募，策定されました。

Yamashina の「Y」をモチーフとして，芽生えた双葉から「緑」，取り囲む楕円形で「水」，その周りを巡る様で「歴史」が描かれており，また，斜めにする事で躍動感を表し，山科区の進歩と発展を願っているものです。

# 1 はじめに

山科区運営方針は、山科区フロンティア計画（山科区基本計画）の実現に向けて、区役所をはじめとする区内の行政機関が平成19年度に重点的に取り組む項目を区民の皆様にお示ししたものです。

また、この運営方針を市民しんぶん山科区版やホームページを活用して公表することにより、区民の皆様と情報の共有を図るとともに、様々な御提案や御意見をお伺いし、今後の区政運営に生かしていきたいと考えております。

今後とも多くの区民の皆様とまちづくりについての思いを共有し、躍動とふれあいのまち山科区の実現に向けて努力して参りますので、一層の御理解、御協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

山科区長 廣 田 吉 昭

## 2 区役所の果たす役割

### (1) 山科区基本計画推進における区役所の役割

山科区役所は、区民の皆様のご最も身近な行政機関として、戸籍、住民票、印鑑登録、税務、国民健康保険、福祉、保健などの日常生活に欠かせない業務を適切、効率的に推進しています。また、個性豊かで魅力あふれるまちづくりを区民の皆様とともに進める役割を担っています。

山科区では、平成22年までの10年間を計画期間とし、21世紀のまちづくりの指針となる、山科区フロンティア計画を、平成13年1月に策定しました。この計画は区民の皆様のご「自分たちのまちは自分たちでつくる」という熱い思いを結実する形で策定されており、山科区を一層魅力あふれるまちとして発展させ、誰もがこの地に暮らすことを誇りに思えるまちとすることを目指しています。

その推進に当たっては、区民・事業者・行政の三者がそれぞれの役割を認識し、それぞれの立場で取組を展開する必要があります。

山科区役所では、区民の皆様とのパートナーシップの下、山科区運営方針に掲げる事業等を着実に実施し、山科区フロンティア計画に掲げる躍動とふれあいのまち山科区の実現を目指します。

### (2) 山科区運営方針の主な推進体制

区民の皆様とのパートナーシップにより山科区フロンティア計画、山科区運営方針に掲げる取組を推進するため、山科区長のリーダーシップの下、区内の各種団体との連携を一層強化し、行政サービスの更なる向上を図ります。

#### “やましな21” 推進会議

各種団体等の代表により構成されており、山科区フロンティア計画の五つの基本施策ごとに部会を設け、計画の進ちょく状況の把握や情報交換を行っています。また、山科区フロンティア計画の計画期間の後半5年間（平成18年～平成22年）については、より一層の推進を図るため、計画の中から24の重点目標を定め、各団体ごとに取組を進めることとしています。

#### 山科区行政推進会議

区行政の総合的な推進を図るため、区行政の状況把握のための情報交換と区民の皆様からの要望等に基づく課題の解決に向けた分野横断的な協議・調整を行う機関として、区内行政関係機関の参画の下、設置しています。

#### 山科区役所経営会議

区行政に係る施策・事業の企画立案を行うとともに、山科区役所における各種事業の効率的な執行を行うため、区役所内に設置しています。

#### さわやか職場推進委員会

区民の皆様により「満足」していただける行政サービスの提供を目指して、市民応対窓口サービスの向上に取り組むために、山科区役所内に設置しています。

### 3 山科区の現状

#### (1) 山科区の歴史

山科一帯は、既に、平安時代に山城国宇治郡山科郷という名で呼ばれていました。

古くは縄文時代からの足跡が今も残されており、芝町遺跡や中臣遺跡から発掘された土器、石器類、万葉ロマンの世界をしのぼせる鏡山・天智天皇陵のほか、平安時代から存在し、数々の伝説を秘める有名社寺や中世に広大な寺内町を築いた山科本願寺跡、江戸時代の風景を思い起こさせる旧東海道の遺跡など、脈々と受け継がれてきた歴史をたどるのに大変恵まれた地です。

また、山科は大石内蔵助が討ち入り前に隠れ住んでいたといわれており、赤穂義士にまつわる史跡の数々が今日まで伝えられています。こうしたことから、毎年12月14日には、討ち入りなどを再現する「山科義士まつり」が多くの区民の参加の下、盛大に開催されています。

行政区の変遷としては、宇治郡山科町が昭和6年に京都市東山区に編入されました。その後、昭和26年の支所開所を経て、昭和51年10月に東山区からの分区・独立により、現在の山科区となり、平成18年に区誕生30周年を迎えました。



山科義士まつり



中臣遺跡から発掘された土器

## (2) 山科区の地勢と現況

山科区は、京都市の東端に位置し、京の東の玄関口としての役割を担っています。西は東山連峰、北は大文字山、如意ヶ嶽、東は音羽山、牛尾山と三方を山に囲まれ、南で伏見区の醍醐地域に接しています。

また、多くの川に恵まれ、安祥寺川、四ノ宮川、音羽川など、山々からの豊かな流れが、区の南部で山科川に合流しています。押し流されてきた土砂の恩恵を受け、平野部は農耕作物に適した土壌となっています。

明治初期に京都の近代化を目指して建設された琵琶湖疏水では、桜のシーズンになると多くの人々が散策を楽しみます。

山科区は清水焼、京仏具、京扇子などの伝統産業の生産団地を抱えていることに加え、金属箔、金属粉などの産業が発達しています。

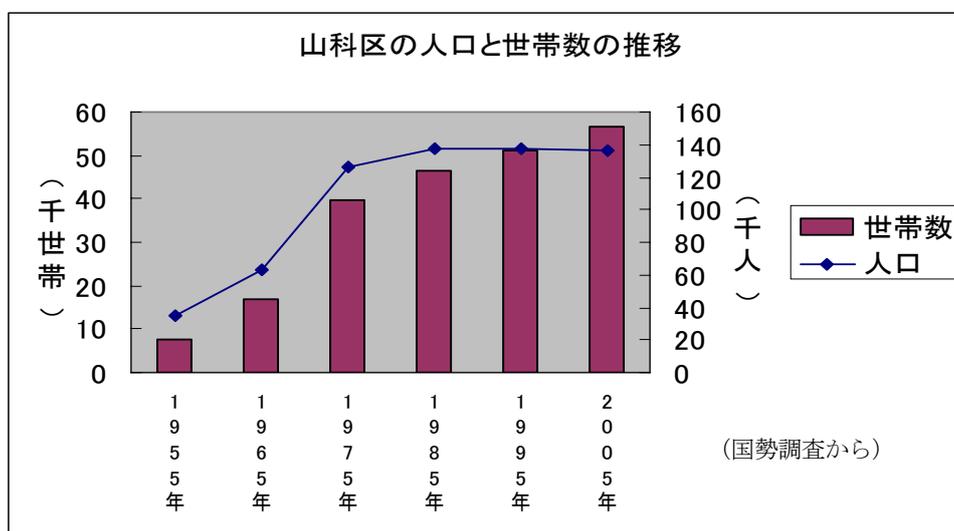
都市基盤の面では、地下鉄東西線が六地蔵まで延伸されたほか、JR 山科駅などのバリアフリー化や同駅前再開発「ラクト山科」のまちびらきなどにより、区民の生活利便性が更に向上しています。



### (3) 山科区の統計データ

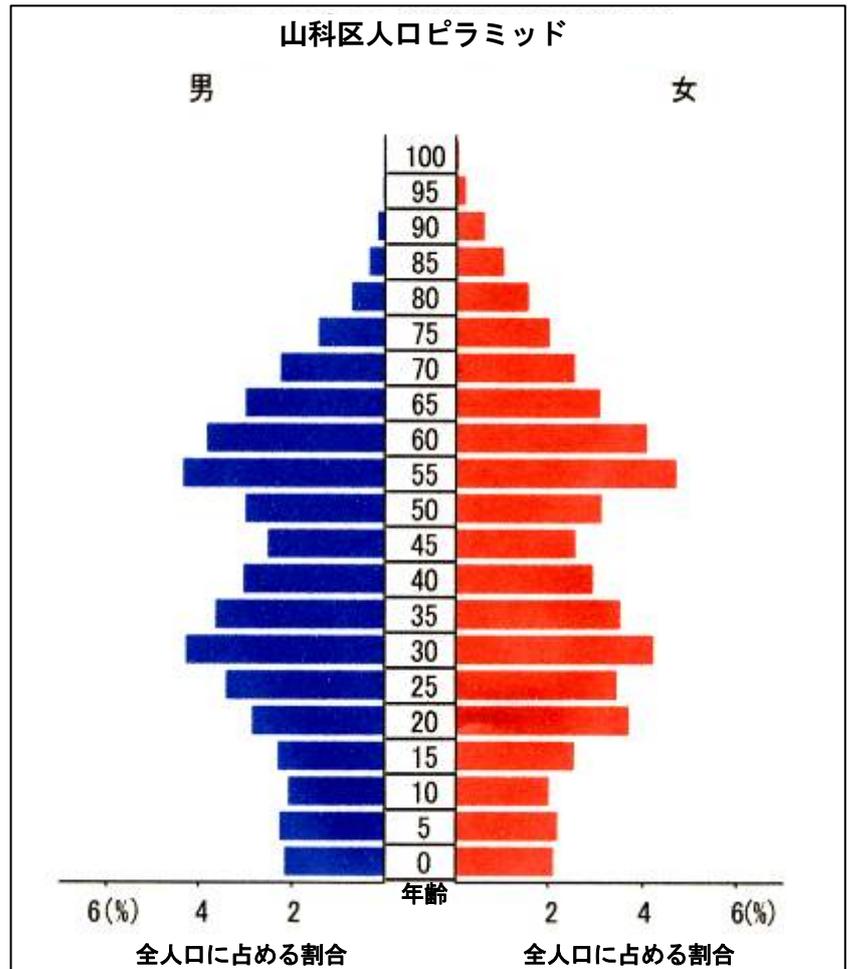
	人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)
京都市	1,474,811	703,210	771,601	653,860	22.4
山科区	136,670	65,206	71,464	56,429	18.9
勸修学区	13,197	6,074	7,123	5,733	18.2
山階学区	7,315	3,361	3,954	3,481	19.6
鏡山学区	12,906	6,229	6,677	5,615	20.3
音羽学区	8,918	4,275	4,643	3,847	19.6
安朱学区	6,286	2,848	3,438	2,978	20.3
陵ヶ岡学区	11,384	4,996	6,338	4,461	33.9
大宅学区	18,419	9,497	8,922	7,167	15.6
山階南学区	10,219	4,986	5,233	4,037	16.3
百々学区	11,585	5,621	5,964	4,597	16.7
大塚学区	12,309	5,951	6,358	4,735	16.5
小野学区	10,474	4,993	5,481	4,039	13.5
音羽川学区	8,584	4,005	4,579	3,521	17.4
西野学区	5,074	2,370	2,704	2,218	20.7

(平成17年国勢調査から)



山科区の年齢5歳階級別人口（平成17年国勢調査）

	人口(人)		
	総数	男	女
総数	136,670	65,206	71,464
0～4歳	5,789	2,915	2,874
5～9歳	6,065	3,079	2,986
10～14歳	5,540	2,831	2,709
15～19歳	6,589	3,130	3,459
20～24歳	8,945	3,895	5,050
25～29歳	9,405	4,667	4,738
30～34歳	11,659	5,851	5,808
35～39歳	9,772	4,948	4,824
40～44歳	8,155	4,139	4,016
45～49歳	6,963	3,453	3,510
50～54歳	8,374	4,097	4,277
55～59歳	12,402	5,963	6,439
60～64歳	10,826	5,214	5,612
65～69歳	8,328	4,115	4,213
70～74歳	6,497	3,064	3,433
75～79歳	4,650	1,957	2,693
80～84歳	3,075	959	2,116
85～89歳	1,842	438	1,404
90～94歳	1,014	200	814
95～99歳	338	57	281
100歳以上	49	8	41
年齢不詳	393	226	167
(再掲)			
15歳未満	17,394	8,825	8,569
15～64歳	93,090	45,357	47,733
65歳以上	25,793	10,798	14,995



## 4 山科区の抱える課題

### (1) ベッドタウン化の進展と住民の居住要望の高まり

山科区はベッドタウンとして発展してきた地域です。

そして、近年の地下鉄東西線の延伸による交通利便性の更なる向上や、「ラクト山科」のオープンによるまちの拠点性の高まりは、今後も多くの人々の、住み続けたい、また住んでみたいという需要を高め、土地利用転換や新規開発等による住宅建設は今後も続いていくと考えられます。

### (2) 問題を抱えた住宅市街地と改善に対する要望の高まり

幹線道路をはじめとする都市基盤整備が不十分であるため、慢性的な交通渋滞の発生や、住宅市街地への通過交通の流入、緊急時や防災面での不安、快適性や潤い不足等の居住環境に対する課題も抱えており、区民にとって、よりよい居住環境と生活利便の向上に対する要望は高いと考えられます。

### (3) 福祉や交流を支える地域コミュニティの発展・継承

住民の転入や、高齢化・少子化の進展に伴い、住民相互の連携を基盤とした交流や福祉に対する要望も今後高まっていくと考えられ、これらを支える地域コミュニティ（地域単位の住民同士の連携）等をより発展・継承していくことが求められるところです。

### (4) 今ある資源を活用したまちの個性化と魅力化

山科区が現在持っている優れた自然・歴史・文化などの資源を活用しながら、更に隠れた資源や魅力を発掘していくことを通して、まちの個性化と魅力づけを行い、地域アイデンティティ（地域らしさ）を確立していくことが期待されます。

## 5 まちづくりの目標

山科区フロンティア計画は「21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区」を山科区の将来像とし、その実現のため、長期的なまちづくりの目標として「安心、快適、潤いのまちの基盤づくり」、「キラリと光る魅力を持ったまちづくり」、「パートナーシップで取り組むまちづくり」の3点を掲げています。

区民・事業者・行政の3者がそれぞれの役割を認識し、山科区フロンティア計画を協働で推進するために、平成13年9月「“やましな21”推進会議」が発足しました。会議では計画に掲げられた五つの基本施策ごとに部会を設置し、計画の目標年次である平成22年に向けて計画の着実な推進を図っているところです。

そこで、山科フロンティア計画に掲げられた五つの基本施策を、中期的なまちづくりの取組目標として位置付け、取組を進めています。

### 『山科区フロンティア計画』のあらまし

#### 【将来像】

“21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区”

#### 【まちづくりの目標】

「安心、快適、潤いのまちの基盤づくり」  
「キラリと光る魅力を持ったまちづくり」  
「パートナーシップで取り組むまちづくり」

#### 【基本施策】

- ① 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進
- ② すべての人にやさしいまちづくりの推進
- ③ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進
- ④ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進
- ⑤ 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

#### 【重点施策】

- ① 環境にやさしい循環型のまちづくりの推進
- ② 地域コミュニティの発展・継承によるまちづくりの推進
- ③ 福祉のまちづくりの推進
- ④ 水と緑と歴史のプロムナードの整備
- ⑤ 快適な交通ネットワークの構築
- ⑥ モデル的まちづくりの推進

## 【目標1】 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

私たちが暮らしていくうえで、まず願うことは何でしょう。それは、安心して暮らしていただけることです。しっかりとしたまちの基盤を作り、互いに心地よく住み続けていけるまちとなるよう、区民・事業者・行政が協力していくことが大切です。

- (1) 環境にやさしいまちづくりの推進
- (2) 災害に強いまちづくりの推進
- (3) 安心して生活できるまちづくりの推進

### 主な取組実績

- ・ 2万人まち美化作戦の実施
- ・ 山科地区交通バリアフリー対策
- ・ 四ノ宮小金塚治山事業
- ・ セーフティ道路やましな事業

セーフティ道路やましな事業



カーブミラー設置に当たっての現地調査



設置されたカーブミラー

## 【目標2】 すべての人にやさしいまちづくりの推進

山科区には、ここに住み・働き・学び・遊び・憩う多くの人々がいます。子どもやお年寄り、障害のある人もない人も、女性も男性も、国籍や民族、生まれや生き立ちに関係なく、すべての人々が交流を進めるなかで、互いに尊重し支えあいながら、生き生きと暮らしていただけるようにすることが重要です。

- (1) 人権尊重のまちづくりの推進
- (2) 福祉のまちづくりの推進
- (3) 高齢者への支援
- (4) 障害のある人への支援
- (5) 子育て支援の環境づくり
- (6) 学校・家庭・地域の連携による子どもたちの育成
- (7) 地域医療と健康づくり
- (8) ボランティア活動の支援

### 主な取組実績

- ・ 山科区福祉総合マップの作成
- ・ MYやましなガイドマップ（触地図）の作成
- ・ やましな子育て支援連絡会の運営



山科区福祉総合マップ

### 【目標3】 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

山科区は、三方を山に囲まれ、市街地の中央を川が流れている自然豊かなまちです。また、人々の営々とした生活のうえに積み重ねられた素晴らしい歴史を持つまちです。これら自然と歴史を継承・発展させていくことは、私たちの生活に潤いをもたらし、山科に暮らすことへの誇りにつながります。

- (1) 公園等の整備推進
- (2) 自然環境や農地の保全と活用
- (3) 水辺の歩行者ネットワークの整備
- (4) 歴史資源の保全と活用

#### 主な取組実績

- ・山科区誕生30周年記念事業「史跡めぐり」
- ・さくら募金の実施
- ・フラワーロード推進事業



山科区誕生30周年記念事業「史跡めぐり」

### 【目標4】 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

京都の東の玄関口である山科区は、古くから人々が集い交流を重ねてきたまちです。私たちの暮らしには、安らぎとともに、躍動するような活気も必要です。地理的に交通の要衝であるというだけでなく、「人々が集い、にぎわう、魅力あふれるまち」をはぐくんでいくことが大切です。

- (1) 幹線道路網の再編整備
- (2) 人と環境にやさしい交通体系の整備
- (3) 拠点地区の形成
- (4) 幹線道路沿道での都市的景観の創造
- (5) 新たなモデル的まちづくりの推進
- (6) 地域資源の観光活用の推進
- (7) 国家的研究機関の誘致の検討

#### 主な取組実績

- ・御陵六地藏線の整備
- ・おこしやす“やましな”協議会の設立
- ・ホップ・ステップ・マップの配布及びホームページでの発信
- ・山科地域商業ビジョン策定委員会発足



ホップ・ステップ・マップのホームページ発信

## 【目標5】 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

今、私たちの寿命が延び、長い人生をいかに過ごしていくかということが大きな命題となってきました。あわせて、地域社会の中で個々人の果たすべき役割が見直されています。私たちが、長い時間を経て培ってきた地域コミュニティを軸に、山科区の新しい文化を創造していくことがこれからの豊かな暮らしには必要です。

- (1) スポーツ・レクリエーションの振興
- (2) 生涯学習・文化活動の支援
- (3) コミュニティ活動の支援
- (4) NPO活動の支援
- (5) 地域情報の発信
- (6) 行政サービス機能の充実

### 主な取組実績

- ・MY やましな（山科区ガイドマップ）の作成
- ・子どもの文化フォーラムの開催
- ・写真で語る山科の今・昔（写真集モノクロームヤマシナの発行）
- ・山科図書館のインターネットによる貸出予約の実施



写真集モノクロームヤマシナ

## 6 平成18年度の取組

平成18年度の山科区運営方針において、特に重点的に取組を進める項目として、3点の推進施策を掲げ、取組を進めました。推進施策ごとの取組状況を紹介します。

### 【推進施策1】

#### ・ 鳥獣被害の防止

##### ～山科区猿害対策チームへの活動支援～

猿による住民の生活被害や農業被害を防止するため、平成17年度に「山科区猿害対策チーム」が立ち上げられました。

平成18年度は、山科区猿害対策チームの活動を支援するため、関係機関への連絡網の整備や講習会の実施など、猿の出没に備えたチームの活動のほか、追い払い物品の提供、猿の位置を把握するための電波受信機の貸与などの取組を行いました。



山科区猿害対策チーム会議

## 【推進施策 2】

### ・ 地域が一体となった観光振興策の実施

#### ～「おこしやす“やましな”協議会」の設立～

山科区は、豊かな自然と、古代からの歴史や文化、清水焼や仏具、扇子などの伝統産業が今も受け継がれている魅力あふれるまちですが、山科の知名度はまだまだ低く、観光客が山科の地に足を踏み入れることが少ないのが現状です。

そのため、平成18年9月に山科の魅力を広く全国にアピールし、多くの観光客に山科の歴史や文化を紹介し、まちの活性化につなげていくことを目的として「おこしやす“やましな”協議会」が、地元経済界を中心に山科区役所も参画する中、設立されました。協議会では、移動観光案内所の運営をはじめとした、観光振興を図る事業を展開しました。



おこしやす“やましな”協議会設立総会

## 【推進施策 3】

### ・ 地域スポーツ活動の振興

#### ～中学校グラウンド夜間照明設備の設置～

身近にスポーツ・レクリエーションを楽しめる場として活用するため、各小学校にテニスやバレーボールに対応できる夜間照明設備が設置されていましたが、ソフトボールやグラウンドゴルフなどには対応できていませんでした。

そこで、多様なスポーツ活動のニーズに応えるため、ソフトボールやグラウンドゴルフなどにも利用可能な広いグラウンドを有する大宅中学校に夜間照明設備を設置しました。

この設備を円滑に活用し、山科区における地域スポーツの更なる普及、振興を図るため、夜間の校庭開放を運営するための委員会を立ち上げ、使用に当たっての規定を定め、登録団体による使用が開始されています。



グラウンドゴルフ大会

## 7 平成19年度の重点課題

山科区では、山科区基本計画推進組織「“やましな21”推進会議」や山科区自治連合会連絡協議会総会「明日の山科を考える」での区民意見の集約状況を踏まえ、山科区役所経営会議及び山科区行政推進会議において、山科区における行政重点課題の検討を行い、平成19年度に重点的に取り組むべき項目の抽出を行いました。

今年度は、特に平成19年度山科区行政重点課題として3点を抽出し、この課題解決のための施策に重点的に取り組みます。

～平成19年度山科区行政重点課題～

- ① 安心・安全のまちづくりの推進
- ② 地域が一体となった観光振興策の実施
- ③ 美しいまちづくりの推進

## 重点課題① 安心・安全のまちづくりの推進

### 課題解決のための施策

#### 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進

##### 【現状】

小金塚地域は、山科区の東北端に位置し、大津市との境界を含む三方を山林に囲まれた大規模住宅地で、昭和40年代に民間業者により開発が進められました。

現在、人口約3,000人、1,100世帯の方々が生活していますが、地域内の道路、橋梁、公園については、ほぼすべてが私有地であるため、地元の負担により維持管理する状態が続いています。

道路及び橋梁について、地元負担を続ける中で、地震等により道路の損壊や橋梁の崩壊が生じた場合、地域住民の避難行動が制限され、大規模災害に至る恐れがあり、また、地域内の公園についても、安全面から災害時に住民が避難するに適したものではないなど、多くの課題が未解決となっています。

上記の課題を放置することは、住民の安心・安全な生活に大きな支障となるため、平成17年度から、地元自治連合会と京都市関係局及び山科区役所において、課題解決のための協議を行ってきました。

##### 【施策概要】

現在、小金塚自治連合会が管理している中央道路、東中央道路について、京都市管理とするために必要な測量等の調査に対しての助成を行います。

また、小金塚自治連合会を中心に住民によるまちづくり組織を設置し、行政とのパートナーシップの下、学識経験者やコンサルタント等からアドバイスやコーディネートを受け、まちづくり計画の策定に取り組みます。



小金塚地域遠景

## 重点課題② 地域が一体となった観光振興策の実施

### 課題解決のための施策

#### 山科区における観光の振興

#### ～おこしやす“やましな”協議会への支援～

##### 【現状】

山科の魅力を全国に発信し、観光を通じてまちづくりに貢献することを目的として、平成18年9月に「おこしやす“やましな”協議会」が設立されました。

協議会は、平成18年度には、移動観光案内所の運営をはじめとした、観光振興を図る事業を展開しています。平成19年度は、より活動を区民の中に広げることを目的に、特定非営利活動法人（NPO法人）としての法人格を取得する手続きを進めるとともに、引き続き、山科区の観光振興のための活動を本格化させることとなっています。

##### 【施策概要】

おこしやす“やましな”協議会の活動を支援することを目的に、山科区の観光に関する動向を把握するとともに、山科区の観光資源や行催事等を整理し、山科区の観光の特性を把握します。更に、これらの結果を踏まえ、山科区の観光が抱える課題等を抽出、検討します。

また、おこしやす“やましな”協議会では、山科の魅力を編集した観光マップや山科の歴史に触れられる観光案内板を作成することとしており、それらの事業に対して支援を行います。



協議会移動観光案内所 おこしやす“やましな”号

## 重点課題③ 美しいまちづくりの推進

### 課題解決のための施策

#### 山科区みんなでまち美化NO. 1 作戦

#### フラワーロード推進事業の充実

##### 【現状】

山科区では、環境にやさしい取組として、区内全世帯の約3分の1（約2万人）が参加し、清掃活動を行うという、他都市にも例のない大規模なまちの清掃活動「2万人まち美化作戦」が行われています。

また、家庭ごみ有料化に伴う不正排出をなくすため、「山科区ごみ出しマナーNO. 1 宣言」を發表し、区内全域のごみ収集箇所ですべて不正排出をチェックしました。

その他、山科区を花と緑で潤いのあるまちにするため、区役所庁舎前花壇の整備や幹線道路の街路樹柵等に植栽するフラワーロード推進事業が進められています。

##### 【施策概要】

平成19年度は、「山科区みんなでまち美化NO. 1 作戦」として、新たに小・中・高校、大学にも参加を呼び掛け、より多くの区民の参加による「山科区2万人まち美化作戦」を実施します。「山科区ごみ出しマナーNO. 1 作戦」は、環境に配慮したごみ出しマナーを進めるため、分別収集の徹底を図るほか、使用済みの乾電池などのリサイクルの推進に努め、ごみの減量を推進します。

また、フラワーロード推進事業については、平成20年5月の新十条通の開通に向け、外環状線からトンネルまでのすべての街路樹柵にガザニアの植栽を完了させることを目指しています。

これらの施策を通じ、美しい山科区のまちづくりを推進します。



2万人まち美化作戦



山科区ごみ出しマナーNO.1 宣言



フラワーロード推進事業による植栽

## 8 その他の山科区主要事業

平成19年度京都市予算から山科区関連の主な事業を、山科区のまちづくりの中期目標別に御紹介します。

### (1) 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

野生鳥獣対策  
災害防除工事（勸修寺今熊野線）  
歩道整備工事（勸修寺日ノ岡線）  
舗装復旧工事（勸修寺経75号線）  
竹田川河川改修整備  
旧安祥寺川改修整備  
焼却灰溶融施設整備（東部山間埋立処分地内）  
山科市営住宅トータルリモデル事業  
第一疏水水路の安全対策の強化

### (2) すべての人にやさしいまちづくりの推進

交通バリアフリー化事業（山科駅前歩道整備）  
障害のある中高生のタイムケア事業（西野小学校）  
こころのふれあい交流サロン事業  
特別養護老人ホーム建設助成（北花山大林町）

### (3) 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

東山自然緑地公園危険木対策（剪定及び伐採）

### (4) 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

新十条通幹線街路整備  
小山大宅線道路改良整備  
東出橋補修工事

### (5) 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

暮らしの工房づくり支援事業  
地域学童クラブ事業補助

# 21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区

平成19年度山科区運営方針

平成19年4月  
山科区役所区民部総務課

〒607-8511 京都市山科区柳辻池尻町14-2  
TEL 592-3050 (代) FAX 502-1639  
URL <http://www.city.kyoto.jp/yamasina/>